

# 朧月夜

本調子

合	乙	老	合	老	四	上	工	中	上	中	老	乙	乙	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

な	の	は	な	ば	た	け	に	い	り	ひ	う	す	れ
老	老	合	乙	老	上	上	中	上	老	合	乙	上	老

み	わ	た	す	や	ま	の	は	か	す	み	ふ	か	し	
上	上	老	四	上	工	工	五	工	上	中	老	乙	乙	合

は	る	か	ぜ	そ	よ	ふ	く	そ	ら	を	み	れ	ば
上	上	工	工	工	五	工	中	上	上	中	老	老	乙

ゆ	う	づ	き	か	か	り	て	に	お	い	あ	わ	し
合	乙	老	合	老	四	上	工	中	上	老	乙	乙	合

上	中	工	五	尺	五	上	老	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---

一、菜の花畠に、入日薄れ、  
見わたす山の端（は）、霞ふかし。  
春風そよふく、空を見れば、  
夕月かかりて、にほひ淡し。

二、里わの火影（ほかげ）も、森の色も、  
田中の小路をたどる人も、  
蛙（かはづ）のなくねも、かねの音  
も、  
さながら霞める朧月夜。